

3月定例市議会 一般質問から

伊那市議会3月定例会の一般質問は、対面式・問一答方式により、3月7日、8日、9日の3日間に行われ、19人の議員が質問に立ちました。たつて行われ、19人の議員が質問に立ちました。質問と答弁の主な内容をおしらせします。

● 高遠グリーンパークについて

問 飯島進議員 「高遠グリーンパーク」を是非継続してほしい。

答 市長 他の施設と複合的な利用を考える。利用増に期待し、しばらく様子を見る。



高遠グリーンパーク

● 桜の商品化

問 飯島進議員 桜の葉や花を使った食品などの商

品化は、遊休荒廃農地の解消や新産業の創出に期待ができる。実現に向け市の積極的な支援を。

問 市長 東部地区農業振興センターを中心に企業と連携し事業を進めている。安定的に収穫できるまでの支援策などについて検討したい。

答 市長 東部地区農業振興センターを中心に企業と連携し事業を進めている。安定的に収穫できるまでの支援策などについて検討したい。

● 自然エネルギーへの取り組み

問 飯島進議員 自然エネルギー導入の考え方は。

答 市長 地域特性から小水力発電を重視し、長谷地域をモデル地域として進めたい。農業用水路や砂防堰堤を利用した発電の可能性も検証したい。特に災害時に地域が孤立した場合にも自活できるケースを想定して取り組みたい。

問 飯島進議員 自然エネルギー導入の考え方は。

答 市長 ①市の心の相談事業の中で、必要な人には医療機関に適切につなげていく。

● 市商工業振興条例について

問 前田久子議員 市商工業振興条例には補助金返還の規定がなく問題になった。条例見直しの考えは。

答 市長 補助金返還の規定を設ける自治体はほとんどないが、補助金の取り消しや返還、事業継続の努力などについて規定を検討している。また、企業誘致は自治体間の厳しい競争であり、土地取得に対する助成など、誘致策についても研究していく。

● うつ病と自殺防止対策

問 前田久子議員 ①認知行動療法はカウンセリングにより否定的な考えを前向きに修正する精神療法。市内の状況と今後の手立ては。②自殺原因はうつ病が多い。早期発見治療が必要。携帯電話を活用し自分や家族の心の健康を測定できる「心の体温計事業」の導入は。

答 市長 ①市の心の相談事業の中で、必要な人には医療機関に適切につなげていく。

②よく研究し、県の自殺対策緊急強化基金の中で検討したい。

● 高遠高校振興策

問 前田久子議員 高遠高校の将来像、支援策は。

答 市長 環境ビジネスなども提案してみたい。地域に根ざした魅力ある高校づくりで存在していかなければならない。

● 地域のスポーツ環境について

問 唐澤稔議員 ①市民からスポーツ施設料金が高いとの指摘があるが市長の見解は。②市営球場について、どのような改修になるか市長の考えは。



伊那市営球場

答 市長 ①近隣の類似施設と比べ多少なりとも上

下はあるが、一概に高いということはない。利用料金は施設の建設費、維持管理費、利用度などを考慮して決めている。公平性と受益者負担の観点から一定の利用料金は徴収するのが基本。減免規定を含め全体のバランスを見ながら見直しを検討したい。②全体的には富士塚グラウンドのようなイメージを考えている。

● ごみの資源化

問 唐澤稔議員 モデル地区をつくり、ごみの資源化に取り組んでどうか。

答 市長 現在、西箕輪大萱地区で生ごみの減量化に取り組む、効果のある数字が出ている。今後も広げていきたい。バイオマスエネルギーも視野に入れた地域特性に合った資源利用を研究していきたい。

● 震災から1年、これからの減災を考える

問 二瓶裕史議員 市民防災士の活用をどのように考えるか。また、市民に対するトリアージ教育について提案する。

たい。②当面避難小屋として管理する。施設の修繕は総合的に考え検討する。③タイムリーな情報提供が発信できるよう取り組む。④今後の必要性を含め検討したい。

答 市長 市の補助制度を活用して資格取得をした人には長野県自主防災アドバイザーに登録していただき、市の各種防災事業への協力を求めていく。また、市民がトリアージの知識を持つということも重要。救急の講習会など参加しながら身につけてほしい。

わせて、発車メロディを「伊那市の歌」にできないか。内外へのPRにもなり、市民の郷土愛も深めることができると思うが。

問 前澤啓子議員 市の調査で13%の人が金銭的理由で十分な介護保険の利用ができないと答えている。なぜ26.7%もの値上げをするのか。県の財政安定化基金の取り崩し、一般財源からの繰り入れで値上げを抑えるべき。

答 市長 改定後の保険料率は県下の市では下から2番目に抑えた。支払いが苦しい場合は徴収猶予や分割納付で対応したい。国の制度であるため、市だけの対応は難しい。

問 前澤啓子議員 生活保護数は全国的に増えている。上伊那は平成18年に比べて

23年が倍に増えた。市は逆に減っている。小中学校の要保護・準要保護率も19年に比べて23年は1.5%上昇している。市で生活保護が受けられず引越した例、生活保護はだめで収入が無いのに社会福祉協議会の借り入れをした例などある。なぜか。

答 市長 不正受給のないよう適正な指導をしている。県の監査でも問題は指摘されていない。

問 保健福祉部長 死亡や転出が多い。高齢者世帯の保護数が伸びていない。母子父子世帯の保護数が減っているなどが原因。

答 市長 財政状況を見て福祉施策とも連携して進めてゆく。大萱団地の建て替えは県と連携して検討を進める。

問 居住福祉について

問 前澤啓子議員 湿気で床が落ちた、風呂がなく銭湯に行くにも足がないなどの声がある。今後の公営住宅政策は。

答 市長 財政状況を見て福祉施策とも連携して進めてゆく。大萱団地の建て替えは県と連携して検討を進める。

問 二瓶裕史議員 伊那市駅開業100周年に合



伊那市駅

祝伊那市駅100周年、発車メロディを「伊那市の歌」

答 教育長 中学校は6キロまで徒歩が原則。特例で自転車通学を認めており、6キロ以下の補助は考えていない。

問 二瓶裕史議員 自転車通学となる家庭に一律に補助を出せないか。

答 市長 市の補助制度を活用して資格取得をした人には長野県自主防災アドバイザーに登録していただき、市の各種防災事業への協力を求めていく。また、市民がトリアージの知識を持つということも重要。救急の講習会など参加しながら身につけてほしい。

問 二瓶裕史議員 自転車通学となる家庭に一律に補助を出せないか。

答 市長 市の補助制度を活用して資格取得をした人には長野県自主防災アドバイザーに登録していただき、市の各種防災事業への協力を求めていく。また、市民がトリアージの知識を持つということも重要。救急の講習会など参加しながら身につけてほしい。

問 介護保険料の値上げについて

問 前澤啓子議員 市の調査で13%の人が金銭的理由で十分な介護保険の利用ができないと答えている。なぜ26.7%もの値上げをするのか。県の財政安定化基金の取り崩し、一般財源からの繰り入れで値上げを抑えるべき。

答 市長 改定後の保険料率は県下の市では下から2番目に抑えた。支払いが苦しい場合は徴収猶予や分割納付で対応したい。国の制度であるため、市だけの対応は難しい。

問 生活保護行政について

問 前澤啓子議員 生活保護数は全国的に増えている。上伊那は平成18年に比べて

23年が倍に増えた。市は逆に減っている。小中学校の要保護・準要保護率も19年に比べて23年は1.5%上昇している。市で生活保護が受けられず引越した例、生活保護はだめで収入が無いのに社会福祉協議会の借り入れをした例などある。なぜか。

答 市長 不正受給のないよう適正な指導をしている。県の監査でも問題は指摘されていない。

問 保健福祉部長 死亡や転出が多い。高齢者世帯の保護数が伸びていない。母子父子世帯の保護数が減っているなどが原因。

答 市長 財政状況を見て福祉施策とも連携して進めてゆく。大萱団地の建て替えは県と連携して検討を進める。

問 居住福祉について



鹿嶺高原

問 これからの広域観光について

答 市長 上伊那、下伊那、木曾地方の関係団体と広域観光連携について具体的な事業の可能性を研究している。三遠南信道路やリニア、空港などを含めた交通対策にも取り組み、広域観光を推進し、観光の産業化に努めたい。

問 柴満喜夫議員 これからの広域観光について市長の考えは。

答 市長 上伊那、下伊那、木曾地方の関係団体と広域観光連携について具体的な事業の可能性を研究している。三遠南信道路やリニア、空港などを含めた交通対策にも取り組み、広域観光を推進し、観光の産業化に努めたい。

問 JR飯田線、伊那市駅100周年記念事業について

答 市長 ①環境や教育の観点から魅力を発信し

機にJR東海と連携を深め、各駅へポスター貼付などの観光振興を。

答 市長 100周年は飯田線をアピールするチャンス。これからの100年を見据え、地域振興につながる取り組みがこの100周年を契機に始まることを期待している。

復興支援森林整備緊急対策

問 柴満喜夫議員 ①松くい虫対策樹種転換について②民有林整備について③市有林整備について

答 市長 ①松くい虫被害は北上している。24年度は樹種転換の推進を行う。②温暖化防止、有害鳥獣対策の暖帯の整備など間伐を進める。③森林整備計画などの設定目標により整備を進める。

友好都市・新宿区との交流について

問 飯島尚幸議員 ①J-A上伊那が推進している花育活動を市が支援し、新宿区の小学校を対象に展開できないか。②新宿区内でいつも市の農産物が売られているとい

た常設の直売所の設定、確保を望むが。

答 市長 ①J-A上伊那とよく相談し、実現できるような取り組む。②市のPRに直売所は効果的。今秋には淀橋市場の祭りで伊那の農産物販売を予定している。さまざまな人脈、機会を得て常設の直売所設置の可能性について研究していく。

スポーツコミッションの推進

問 飯島尚幸議員 スポーツの各種大会や「駅伝のまち」宣揚へ、大学、実業団関係者の合宿誘致などスポーツツーリズムの実現は。スポーツと観光を融合させるためのプロモーション活動、受け入れコーディネートなどを担う戦略的窓口が必要だが。



春の高校伊那駅伝2012

答 市長 観光はいろいろな要素を絡ませたマッチングがある。市で開催されるスポーツや教育など各種大会の経済効果は大きい。地元で行う意義をよく考え、飲食や応援、おもてなし、宿泊、観光などを分析し、市民全体での取り組みを繰り返すことが大切。総合的な窓口として市観光協会がある。

各種「審議会等」のあり方

問 黒河内浩議員 ①各種審議会に市議が委員として加わる事に賛否両論ある。どのように考えるか。また、答申されてきた結果への対応は。②行政改革審議会と他の審議会との関係はどうあるべきか。行政改革審議会はあまりに収益性のみの追求に走りすぎているか。

答 市長 議員が加わるメリットもあり、その都度判断する。答申結果は決定ではないが、尊重して方針決定する。②行政改革は簡素、効率的な市政運営を目指し、その範囲は広く他の審議会とも重複する必要がある。外部評価として尊重するが答申結果は決定で

犯罪防止に向けた市としての取り組みについて

問 黒河内浩議員 ①暴力団排除条例の制定と青少年健全育成条例に対する市長の見解は。②上伊那更生保護サポートセンターを設置することに對する支援は。

答 市長 ①青少年健全育成条例は県も制定していないし、市でも制定する予定はない。②保護司の皆さんの活動は大切。保護司会で拠点施設を設置を検討中。市も支援していく。

南アルプス(中央構造線エリア)ジオパークについて

問 若林徹男議員 ①ジオパークは数億年の地球の進化が見えるユニークな場所。地球遺産の保護と教育学習への活用と歴史、文化、観光資源を連携させた地域振興策について考えは。②市の歴史、文化、観光の発信策、「伊那検定」の実施について考えは。③捕獲シカの処分と食用の研究開発について考えは。④フィルムコミッションについて、松本、諏訪圏は存在

感を増しているが市の現況と今後の考えは。

答 市長 ①南アルプスジオパーク協議会が推進母体となり、ジオパークを二層発信していく。関係団体と連携し地域振興、教育の普及に取り組む。②商工会議所など市民団体が話が進んでいる。市では実施の予定はない。③今期は3千頭捕獲。処理は埋設。食用としての利用は県のガイドラインが厳しく難しい。当面は個体数を減らすことが重要課題。④24年度予算ではジャパンフィルムコミッションに登録する予算を計上。登録すれば、更に撮影の場面は増える。

市民会館に変わるとする伊那公民館の建設について

問 若林徹男議員 伊那公民館の位置づけ、規模などについて考えは。

答 市長 必要最小限の施設規模で検討している。

新年度予算について

問 柳川広美議員 ①竜東保育園の改築について、上農定時跡地への移転、園庭

答 市長 市の給与は19市中で最低。合併による抜本的な見直しや人員削減を行い、国の改革より進んでいる。直ちに国に習った削減ということにはならない。

森林税について

問 橋爪重利議員 鳥獣被害として高山植物や植樹した苗はその年の冬に芽を、立木も皮を食べられる状況。鳥獣被害対策は森林税の目的「森林づくり」の要件をみたしていると考え。森林税の使用拡大を県へ要望してどうか。

答 市長 鳥獣対策への活用を求める意見は多い。この分野にも適応されるよう県へ要望していく。

定住人口対策

問 橋爪重利議員 ①人口増の市町村と当市を比較し、良い施策は積極的に取り組むべき。②ミニ団地を旧村部で提供すれば公共施設も有効

「税と社会保障の一体改革」と伊那市の財政について

問 柳川広美議員 消費税率10%になれば市の財政に大きな影響が出る。発注減、料金値上げ、税収減になるのではないか。国へ反対の意見を。 **答** 市長 デフレ下での増税は景気に影響する。総務部長 市への影響の試算はしていない。

合併10年後の伊那市について

問 平岩國幸議員 ①合併して6年が経過した。合併特例期間でもある4年先の市のあり方は。②合併当初799人の職員が、28年度からは657人になる。4年先の総合支所のあり方は。③市の年齢別職員数はピル樽型で職員構成に歪みがあるが、この改善策は。④市の人口は10年間で2千138人減少している。中山間地は特に減少率が高く、老々世帯



美和湖公園

答 市長 ①上の原保育園などの距離・地域バランスなどから現地建替えを決めた。一部二階建てにして現在より庭は広くなる。駐車場は30数台増やす計画。②200人から250人の講堂を考えている。利用団体などの声を聞いて進める。展示するには学芸員が必要。戦争の遺跡・記憶の保存については今後の検討課題としたい。③

中学生の武道の必修化について

問 平岩國幸議員 ①4月から中学校の武道が必修化。武道を教えられる先生はいるか。②武道の3種目の選定は各学校に任されているか。

答 教育委員長 ①体育教師は武道の講習会や大学で単位履修し指導者として資質を備えている。②既に武道は選択領域として各学校で実施。

自転車の安全指導について

問 宮島良夫議員 自転車通学者の安全指導について考えは。

答 市長 グリーンベルトの設置は地区、学校、PTAと連携しながら推進したい。県道も改良工事に合わせた安全対策を要望していく。教育長 交通安全教育は発達段階に応じて指導している。

伊那市の財政状況と雇用

問 宮島良夫議員 ①自治体が雇用の場を開放すべきでは。②職員削減が地方交付税に今後影響が出てくるのか。

答 市長 ①自治体が雇用の場として機能を果たすことは、長期的な視点に立つと雇用の創出にはならないと考える。総務部長 ②直接的には関係ない。標準団体の職員数が変われば交付税にも間接的に影響がでることも考えられる。

国家公務員給与削減について

削減について

森林づくりの推進

に利用され、新たな投資も必要なくなる。②団地を造成し住宅用地の斡旋を行う考えは。③新築時の費用負担の軽減として、固定資産税相当額の支援を図ることなどが定住人口の増につながる方策の一つと考えるが。

市長 ①観光産業の育成など後期基本計画に位置づけていく。②宅地分譲は民間活力に期待したい。市所有の未利用地の処分についても民間とも連携して処分を進めたい。③固定資産税相当額の支援は建築した人のみ対象。多くの人々が支援を受けられる定住施策が必要。

伊那市特命大使の新設について
唐澤千明議員 今年2月に委嘱した2組の特命大使にどんなお願いをしているか。また、今後の取組みへの考えは。

市長 ①観光大使として「オトメ☆コーポレーション」を、ことも大使に「鈴木福」君を委嘱し、全国に向け伊那の魅力を発信していただいている。期間は2年で、今後も市に縁のある方を委嘱したい。

竹中則子議員 ①災害対応には女性の視点も重要と考えるが。②防災体制構築に女性参画推進を。

市長 ①防災計画の策定に女性の視点を反映させることは重要。自主防災組織への保健師、看護師などOBの加入も得たい。②地域での女性防災士の登用、女性消防団員の勧誘、日赤奉仕団の研修会など充実を図りたい。

長谷鍼灸治療所、長藤健康増進施設の利用促進による存続を
竹中則子議員 ①長谷鍼灸治療所は高齢者の健康保持を目的とする県下では2ヶ所だけの公的施設。存続を願うが考えは。②長藤健康増進施設は健康器具が多種設置されているが、利用促進を図りたい。



長谷鍼灸治療所

置され、プールも完備。若人から高齢者まで利用範囲も広いが、今後の利用について考えは。

市長 ①赤字の圧縮と利用者増やすことが大事。広報など宣伝を重ね広く市民に周知したい。②温水プールは県内でも非常に少なく、そうした利点を上手に発信したい。ターゲットゴルフ場などの施設と組み合わせたい。

入札制度改革の更なる改革
若林敏明議員 入札が公正・公平・適正に行われるよう更なる改革を。①総合評価で障がい者や消防団員の雇用など地域貢献の配点を上げる。②設計業務発注区分の見直し。③受注後の下請け市外流出を止める。

市長 ①地元を優先しているが、獣害対策なども評価に加えることを検討したい。②今後検討する。③流出実態は1割以下だが引き続き要請する。

放射能の測定と教育
若林敏明議員 1月に購入した測定器を最大



放射能測定器

教育次長 ①流通している食材は安全が基本で、当面これまで通り。②今後のやり方や品目は更に検討する。

小水力発電の可能性
若林敏明議員 今後の事業展開で注目すべき

政策審議監 4つある。①7月から施行される電力買い取り制度の価格に注目。②水利権の申請許可に時間を要す。③政府の支援策の継

有利な交付金活用による公民館などの建て替え、改修のいきいき交流施設について
飯島光豊議員 もっと紹介し普及呼びかけを。

市長 今後も丁寧に地域に呼びかける。



いきいき交流施設

飯島光豊議員 ①市長はNECライティング(以下NEC)立地にあたっての特命担当者か。②用地造成の公文書に売買相手としてNECの記載があるが。③この造成事業に起案書や決裁書はあるか。④起案も決裁もない造成は文書主義の原則に反するのでは。⑤決裁がない市長印押印は公印の不正使用にあたるのでは。⑥市顧問弁護士がNECと市担当者

伊那市の環境モデル都市推進への取り組み
小平恒夫議員 ①市の不法投棄の状況は。②新山のトンボの楽園の保護は。③伊那小などの総合学習による自然環境教育への取り組みは。

市長 ①不法投棄がよく行われる場所は監視カメラの設置やパトロールを実施している。②環境を維持する取り組みが必要。③保育士をはじめ、環境教育に心がけたい。

教育委員長 校外での活動は自然環境教育の一環と捉え、積

高遠町の過疎地域活性化対策
小平恒夫議員 ①過疎化が進む藤沢地域の遊休荒廃農地を整備した食堂「木かげ」がこの春開店する。活性化につながるかと考えるが支援策は。②高遠青少年自然の家

市長 ①応援したい。特徴を上手に発信できる。②一般の人、団体などにも利用を働きかけたい。

伊那市観光株式会社
諸問題について
小平恒夫議員 昨年4月より任用している民間からの専務について、未払い金や不正経理があり、経営の私物化と考えられる。背任行為で免職させるべきではないか。

市長 未払い金について調査を実施した。結果は取締役に報告する。

高遠町総合支所長 4月、5月の2ヶ月で私的な飲食など37万5千円の未払い金が判明。1月20日付で全額支払われた。

高遠町の過疎地域活性化対策
小平恒夫議員 ①過疎化が進む藤沢地域の遊休荒廃農地を整備した食堂「木かげ」がこの春開店する。活性化につながるかと考えるが支援策は。②高遠青少年自然の家

市長 ①応援したい。特徴を上手に発信できる。②一般の人、団体などにも利用を働きかけたい。

伊那市観光株式会社
諸問題について
小平恒夫議員 昨年4月より任用している民間からの専務について、未払い金や不正経理があり、経営の私物化と考えられる。背任行為で免職させるべきではないか。

市長 未払い金について調査を実施した。結果は取締役に報告する。

高遠町総合支所長 4月、5月の2ヶ月で私的な飲食など37万5千円の未払い金が判明。1月20日付で全額支払われた。

お知らせ

傍聴にお越しく下さい
3月定例会市議会は、123名の方が傍聴されました。

定例会市議会は、どなたでも傍聴できますので、お気軽に傍聴にお越しください。
なお、団体で傍聴される場合は席に限りがありますので、あらかじめ議会事務局までご連絡ください。

議会中継
議会中継は、伊那ケーブルテレビ「伊那市チャンネル」でご覧いただけます。

デジタルC 511チャンネル
アナログ 28チャンネル
次回6月定例会の詳しい放送予定は、「市報いな」6月号をご覧ください。



請願・陳情
請願・陳情書は、定例会開会前に開催される議会運営委員会前日までに提出されたものを、その定例会で審査します。

提出された請願・陳情は、定例会本会議で委員会へ付託し、審査報告の後、採決します。
次回6月定例会審査の受理期限は、5月25日までです。(期限は、変更となる場合があります。事前に議会事務局へ確認の上、ご提出ください。)

会議録検索システム
伊那市ホームページでは、「会議録検索システム」を掲載しています。このシステムは、議定例会で行われた過去の一般質問や、議案の審議など、検索したい言葉や発言者などから、簡単に検索・閲覧することが出来ます。是非ご利用ください。
<http://www.inacity.jp/>